

平成29年美濃加茂市教育委員会 10月定例会 会議録

1 開会日時及び場所

平成29年10月19日（木）午後1時から午後4時25分まで
美濃加茂市役所分庁舎4階 第1会議室

2 出席者

（教育委員）

教育長 日比野 安平
委員 矢島 良子
委員 安江 ちか子
委員 鹿野 久美子
委員 高野 光泰
委員 渡邊 博栄

（事務局）

事務局長 可児 靖教
学校教育課長 古川 一男
教育センター次長 山内 章
教育総務課課長補佐 長谷川 壮重
教育総務課主任 藤田 美佳
学校教育課 係長 木村加お利

3 開会 午後1時00分

4 議事日程等

（1）教育長あいさつ

（2）会議録署名委員の指名

（3）5月定例会会議録の承認について

（4）議事

議第1号 平成28年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について

議第2号 美濃加茂市立東中学校の通学区域について

（5）協議・報告事項

① 全国学力・学習状況調査の結果について

② 教育委員会行事予定等について

③ 教育センター事業報告

（6）その他

会 議 録

(1) 教育長あいさつ

日比野教育長

※教育長から開会のあいさつ

- ・台風が近付いている。給食を作るかどうかの決定が難しい。6,000食の給食を無駄にしないように、天気の詳細をしなければならぬ。弁当になれば保護者には負担をかけることになる。家庭によってはご飯もおかずもコンビニで買うというところがあっても仕方がないが、困ったときには担任に相談してもらえばと思う。
- ・9月最終週に、山手小学校で歯の健康保健に関する現地審査があった。全国で最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞したとの連絡があった。これは大変なこと。まず県で優勝して次に全国がある。授賞式には学校歯科医も出席された。
- ・山手小学校は、歯科保健だけでなく、学校全体としての健康保健でも優秀だということで全国の上位に名前が挙がっている。防災と歯科保健に特に力を入れている。
- ・10月2日から新副市長に伊藤誠一氏が就任された。
- ・教育長訪問は9校ほどが済んだ。教員は新任であっても教壇に立たなければならぬ。7年目以上の教員を対象に懇談した。40歳代は、教員の人口ピラミッドが少なく、中堅が少ない。採用が少なかった年代がある。
- ・中山道まつり「秋の陣」が催された。太田小学校から2名お姫様が、また供侍もたくさん応募があったが、当日は雨天が残念であった。教員が参加することで、学校とは違う教員の姿を子どもに見せてあげられる。
- ・可茂地区研究校の発表が、可茂特別支援学校で行われた。
- ・中体連の駅伝大会は晴れてよかった。
- ・英語のイノベーション研修会へは、教育委員さん方にもお越しいただきありがとうございました。下米田小学校は、平成22年から取り組んでいる。

(2) 会議録署名委員の指名

日比野教育長

それでは次第に沿ってまいります。
まず、本日の定例会の会議録署名委員は、鹿野委員にお願いします。

鹿野委員

はい、分かりました。

(3) 5月定例会議の会議録の承認について

日比野教育長	5月定例会議の会議録の承認についてです。5月定例会の会議録を事前にお届けしておりますが、ご連絡をいただいているところがありますか。
可児事務局長	委員さん方からではありませんが、事務局からの説明の箇所で文言に修正をお願いしたい箇所があります。 ※修正箇所を説明
日比野教育長	その他、委員さん方のご発言で変更、修正の依頼はありませんか。先ほどの箇所を修正してご承認いただいたこととします。

(4) 議事

議第1号 平成28年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について

日比野教育長	議題に入ります。議第1号、平成28年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について、説明をお願いします。
可児事務局長	※点検・評価について、その手順を説明 ・事務局での一次評価に対して教育委員さん方それぞれに二次評価をしていただき、集計したものについて、1項目から順に教育委員会としての最終評価をA B C Dで決めていただく。 ・委員さん方全員の評価が同じものについては、その評価とし、評価が分かれた事業については意見を伺い決定する。
日比野教育長	全部で29項目ありますのでよろしくお願いします。
可児事務局長	では、教育総務課の事業からお願いします。 ※1番「教育委員会運営事業」について説明
日比野教育長	渡邊委員さんが「B」です。
渡邊委員	皆さんの評価のとおりで結構です。
日比野教育長	それでは、最終評価は「A」とします。
可児事務局長	※2番「学校規模適正化事業」について説明

渡邊委員	これから周知を図って推進していくということで「C」にしました。制度の初年度として「B」でも良かったかと。
日比野教育長	岐阜県で初めての事例ということで、大変苦勞しましたが、今年入学した児童は元気に通学しています。親さんも大変喜んでみえます。来年度の希望者は何人ですか。
可児事務局長	平成30年度の制度利用希望児童は、伊深小学校2名、三和小学校1名から相談を受けています。
日比野教育長	在校生であっても4年生までは利用できます。今は不登校気味の子であっても、環境が変われば学校へ通えるように変わることもあります。最終評価は「B」とします。
可児事務局長	※3番「学校施設の適正な維持管理事業」について説明
日比野教育長	これは、私一人が「A」としました。西中学校、太田小学校のトイレ改修では、きれいになりました。学校は本当に喜んでいました。日程的にも金銭的にもよくやったと評価しました。しかし、全体としてはまだ課題が残っている。激励ということで「B」とします。
可児事務局長	※4番「学校施設整備計画の推進」について説明
日比野教育長	最終評価は全員一致で「B」。
可児事務局長	※5番「児童・就学援助・奨励事業」について説明
日比野教育長	支払える人には支払してもらいたいですし、困っている人には手厚く援助してあげたいと議会でも答弁しております。多子世帯イコール貧困だとは思っていません。そういう意味で一律にやるのではなく、困っている家庭を救うことの方が良いと思います。最終評価は全員一致で「B」でお願いします。
可児事務局長	※6番「放課後児童健全育成事業」について説明
日比野教育長	美濃加茂市は、空き教室が無いのです。児童数が増えていて、他市とは状況が異なります。少子化が進んでいて全国的には教室が空いているのですが。放課後は普通教室が空いているから使えばいいと言う方もみえますが、実際の教室は水槽があったり、粘土細工があったり、家には持って帰る必要のない個人の物が置いてあったりして、そこに他の学年・学級の児童が入るとなると不都合がたくさん起こる。

放課後児童クラブと学校とはシャッターで仕切ってあるくらいですから。なかなか理解いただけないのですけれど。

学童保育の利用希望は増える一方で、受け入れる教室が足りないため、学校外の地域の公民館なども使わせてもらえないかとも思いますが、毎日のことですので簡単ではありません。これからも努力していかなければなりません。

総合評価は「C」だと思います。

可児事務局長

※7番「給食センター（異物混入の防止）」について説明

矢島委員

件数が前年度と比べると18件から38件に増えていきますので、「B」にしました。

鹿野委員

今年度は異物混入は無いのですよね。評価は昨年度の事業についてですものね。今は十分やっただけにしているけれど、その前はどうかということですから。

可児事務局長

危険な異物というのはもってのほかですが、経年劣化で少しは不安がありますが、危険ではないけれども虫や髪の毛が入ったりします。美味しい材料には虫が付きますし。極力気を付けて学校へは行かないように対応しています。平成28年度は38件でしたが、今年度は少なくなっています。

矢島委員

学校で配膳するときに入ることもある。

可児事務局長

学校としても先生方が気を付けて配膳されていますし、給食センター側でも注意を払っていますから、どこで入れたか分からない場合もあります。しかし、入っていたということは事実なので。

高野委員

子どもたちの口に入るものはどうしても厳しくせざるを得ない。私も以前お店で異物混入されていたことがありましたが、他との比較が無いだけに難しいですね。

安江委員

絶えず厳しくして緊張するという意味で「C」にしました。

矢島委員

「B」にしたり「C」にしたり、迷って迷って。

高野委員

今は調理を民間委託していますが、業務の委託は全国でどれくらい行われているのですか。

可児事務局長

全国は分かりませんが、可茂地区では全ての市町村が委託となって

	います。
高野委員	委託から直営に戻すところはありませんか。
可児事務局長	今のところは聞いておりません。
日比野教育長	民間委託の最大のメリットは、従業員が急に退職したりしたときの人員の手配がすぐにしてもらえるということ。県外からでも応援に来てもらえます。勿論、業者の選考には慎重に行っています。 皆さんいろいろと前向きに検討いただきましたが、やはり命に係わりますので、この事業に対する最終評価は「C」とします。
可児事務局長	※8番「給食センター（給食費徴収）」について説明
日比野教育長	よくやってもらっていると思います。徴収業務も学校がやっていますので忙しくなるはずです。法的な力を借りようという検討はしています。良いアイデアがありましたらまたおっしゃっていただきたいと思います。 最終評価は「B」とします。
可児事務局長	※9番「給食センター（食育事業）」について説明
日比野教育長	新聞報道もありましたが、無理やり食べさせて気持ちが悪くなったというのはやり過ぎですが、好き嫌いを無くすよう調理する側は細かな配慮をしています。 作っているところはまだ見ていただけてないので、一度見に来ていただいて、また給食を食べていただきましょう。
矢島委員	今後の方針として「学校差があるので全ての学校に広げていきたい」という表現がありますが、どういうことですか。
可児事務局長	食育については各学校で取り組んでいますが、残食の量は学校でバラバラです。栄養職員が2人体制で小学校へ入っていますが、中学校の食育事業にまでは応えられていません。3人体制にできないか県とも相談していますが難しいようです。
矢島委員	分かりました。
日比野教育長	残食については、できるだけ温かい給食を届けるために、配送順や時間も考えてやっています。 最終評価は「A」とします。

では次に学校教育課の事業について評価を行っていきます。

古川学校教育課長

※1番「ふれあい安全サポーター設置事業」について説明

日比野教育課長

大変良い人に来ていただいていると思っています。自分の業務ではないことまでやってくださっている。大変ありがたいです。
最終評価は「A」とします。

古川学校教育課長

※2番「教職員研修費事業」について説明

渡邊委員

課題はあるとのことですが、緻密というか、しっかりとした研修が出来ていると思います。最終評価は皆さんのご意見にお任せします。

日比野教育長

ありがたい評価をいただきましたが、働き方の見直しが必要ということで、研修のあり方も考えていかなければなりません。質と量と参加のしやすさなどを総合的に考えないといけないと思います。
最終評価としては「B」でよろしいでしょうか。

渡邊委員

結構です。

古川学校教育課長

※3番「教職員研修事業」について説明

日比野教育長

かなり苦勞をして予算を付けてもらいました。義務付けられている研修も自費で行っていましたが、少くくは公費が出してもらえないかと。研修の報告は管理職が確認しています。前向きに参加していただきたいという思いを込めて、最終評価は「B」とします。

古川学校教育課長

※4番「発達支援事業」について説明

日比野教育長

平成28年度はこのような結果でしたが、平成29年度は改善されていると承知しています。

平成28年度からスタートした事業ですが、発達障がいというのはいろいろな種類がありますが、子どもの頃は見過ごされてきたことが、社会へ出ていくと厳しいので会社で仕事がしづらくなったりする。会社を転々としても適応できず、引きこもりになってしまう。40代が一番多く、30代、50代、20代の順です。美濃加茂市では、全ての年代に対応できるような発達支援の窓口を作りたいということで準備をしていて、初等教育の年代であれば教育委員会でやりましょうとスタートしました。

以上のようにありますが、最終評価は「B」とします。

古川学校教育課長	※5番「活躍する生徒支援事業」について説明
日比野教育長	<p>全国大会などへ行くときに、個人や団体の場合もありますが、その旅費の一部を補助するものです。予算が無尽蔵に有るわけではありませんので、上限を設けながら、有効に活用して頑張ってもらいたいという思いです。</p> <p>全員一致で「A」評価とします。</p>
古川学校教育課長	※6番「フロム0歳プラン推進事業」について説明
日比野教育長	<p>ぜひ忌憚のない意見をおっしゃってください。1校平均100万円の補助が出ているところは県内どこにもありません。当たり前補助が出ると思ってもらったら困りますので。これだけ校長先生の裁量で使えるっていうのは無いですから、その分学校が持っている特色を生かしていくという取組で使って欲しいです。</p> <p>絵本作りに取り組んでいただいておりますが、それが負担と感じている学校もあるようです。先生だけでなくPTAの協力で作っていただいても良いわけで、学校にずっと残る教材として使っていただけるとありがたいという思いもあります。</p> <p>最終評価は「B」といたします。</p>
古川学校教育課長	※7番「学習活動支援事業」について説明
日比野教育長	<p>支援員の数は美濃加茂市はかなりよく配置してもらっています。支援員だけでなく、教育委員会の事務職員の数も増えています。先ほどの発達支援センターなど新しい事業も入ってくることもありますが、市全体が教育に目を向けてくださっていて、支援員も含めてより良い教育をして欲しいという思いが表れていると思っております。この事業の最終評価は「B」ということでお願いします。</p>
古川学校教育課長	※8番「学外講師派遣推進事業」について説明
日比野教育長	<p>地域の力を借りて学校を良くしようという取組の1つとして、講師として入っていただいて地域の伝承遊びなどを教えていただくなど力を借りたいというふうに思っております。コミュニティスクールというのに国も力を入れているところです。既に地方では地域の方々と連携して学校活動が行われています。</p>
鹿野委員	<p>大体順調に努力して達成していることは評価できるのですが、完全という訳ではないので期待を込めて「B」としましたが、「A」で結構です。</p>

日比野教育長	それでは、最終評価は「A」とします。
古川学校教育課長	※9番「英語教育推進事業」について説明
鹿野委員	期待を込めて「B」にしました。「A」にはまだ少しと思ひまして。「A」でよろしいです。
日比野教育長	民間業者からMETが来てくれてますが、会社の監査員のような人が来てチェックをしていました。私はいいい人が来てくれていると思います。要求すべきことがあれば言っていけば良いですし、METの方々も日本語検定を受けてくれると良いと思います。英語でやっていたら良いというものでなく、日本語についてもMETに勉強して欲しいと思っています。 鹿野委員がおっしゃったように大変期待を込めての「B」だということです。
矢島委員	先生もネイティブのような発音で驚きました。そんな人ばかりではないと思いますが。
古川学校教育課長	小学校では英語の専門家ばかりではありませんので、今学んでいる最中です。
矢島委員	METのような方が必要かもしれませんが、その人にどのように授業を展開してもらうかは、やはり担任の先生の力量なので、本当に大変なことだと思つづく思いました。
日比野教育長	先生方は英語の指導を受けて教員になったわけではない方が圧倒的なのです。そこでネイティブの外国人にアシスタントとして入ってもらっても授業の主体は日本人の先生がやらなければなりません。小学校では英語の授業の時間割をほとんど組んではいけませんでしたが、随分苦勞することが出てくると思ひます。時代が変わる時はどこかに負担がかかるのですが、先生方は本当に頑張りますとおっしゃる。実際には大変な苦勞をして英語を身につけるわけですから、教育委員の皆さんがその辺りのことをよく見ていただいて、課題を抱えながら現場は動いているという部分もぜひ知っておいていただくとありがたいです。 最終評価は「A」とします。
古川学校教育課長	※10番「外国人児童生徒就学促進事業」について説明
日比野教育長	昨年から太田小学校と古井小学校を中心に顕著に増えています。の

ぞみ教室を中心に学校の先生方の苦労があると思うんですが、減っていくとは思えません。美濃加茂市は都市としては全国一外国人の比率が高い。ブラジルに次いでフィリピンの方がずっと増えてきている。この初期適応指導にかかってくる子どもはフィリピンの子が大体半分です。ブラジルの子は3分の1ぐらいです。日本の子と差が無いように全力で頑張っているということなんです。

のぞみ教室の建物を建てる計画があります。少し収容人数も拡充して行けると思っています。

最終評価は「B」ということでよろしく申し上げます。

古川学校教育課長

※11番「外国人児童生徒日本語指導支援事業」について説明

日比野教育長

言葉だけでなく生活様式や文化・食文化も含めてトータルの指導が必要です。単に言葉を教えれば良いというものではない。比較的スムーズに学校生活に馴染んでいてくれていると思いますが、食生活も違って、野菜が食べれないとか、肉しか駄目とか、差があります。

それと障がい児は日本人と同じように外国籍の子もいます。可茂特別支援学校でも生徒がどんどん増えていますから。日本人も増えています。外国人も増えています。のぞみ教室での指導だけでは対応しきれない子もいます。

それでは、総合評価は「B」ということでお願いします。

古川学校教育課長

※12番「小学校音楽会事業」について説明

日比野教育長

皆さんにも見に行っていて大変嬉しく思っております。子どもたちも一生懸命です。各学校とも相当な時間をかけて取り組んでいます。最終評価は皆さんの評価どおり「A」とします。

古川学校教育課長

※13番「適正就学指導実施事業」、14番「就学時健康診断実施事業」について説明

日比野教育長

児童委員や民生委員の方の力を借りたい事業です。教育委員会から家庭の事情などの情報を流すとなると個人情報保護の関係で大変神経を使います。民生委員・児童委員の方が地域で把握していらっしゃる情報が学校と連携してこちらに上がってくるとまた指導の助けになると思っています。こちらから一方的に情報を提供してお願いしますということはなかなか言えないのです。本当に微妙な話が多いです。協力して地域の子どもを育てるという視点は全く同じですからお力添えを願えるとありがたいと思いつつながら、限界もあるということなんです。

安江委員	<p>年度途中でも出入りが激しいということですが、美濃加茂市へ途中で転入して来ても保育園や幼稚園に行かない子が入ってくることもありますし、遊んでいる外国人の子を結構見かけます。把握というのは民生委員さんでも難しいでしょうね。</p>
日比野教育長	<p>学校に行かせる義務がありませんので無理に来させることは無いです。学校に通いたいと言われれば私たちは受け入れます。</p>
安江委員	<p>我が家の近くのマンションでは1つの部屋に何人か違う人が一緒に住んでいて、名前は貼ってありますがきっと違う人が住んでいるのだと思います。</p> <p>大体外国人の人が多いアパートは決まっていますが、太田地区でもアパートで少し古くなると外国人の方が住むようになって、いくつかの家族が同居している感じで。生活習慣も日本人とは随分違うと思います。子どもたちは楽しく遊んでいます。</p>
日比野教育長	<p>生活習慣の違いというのはそう指摘も出来ないですし、当たり前と思っているところもあります。</p> <p>しかしどうやって就学の有無を突合していくのですか。まず市民課で登録するけれど、1年を通して外国人は出入りしていますから、把握しきれない。</p>
古川学校教育課長	<p>なかなかその正確な把握っていうのは現実的に難しいところがありますが、努力はしなければいけないと思います。現在は転入の際、教育委員会へ行くように市民課で声をかけていただいています。しかし、基本的には外国人の子には就学の義務が無いということで親が行かせたいと思っていなければこちらから動けないということがあります。平成30年度入学については、9人の外国人が就学時検診に来ていません。これらの親には就学を促そうかと思っています。</p>
安江委員	<p>携帯電話会社にもたくさんフィリピン人が働いています。書くことは苦手ですが話せますので、そういう方から情報を探すのも方法かと思います。(携帯電話の店では) 本当に優しく教えてくれますので、日本人よりも丁寧かなと思っいろいろ話していると、友達が仕事を探しているとかいろんな話が聞けます。一度聞いてみます。</p>
古川学校教育課長	<p>ありがとうございます。情報網を広げてアンテナを高くしていきたいと思います。</p>
日比野教育長	<p>13番については、最終評価は全員一致で「A」とします。</p>

矢島委員	14番について、私確か「A」にしていますが。外国人の子を全て就学時検診を受けさせるのは大変だと思います。致し方ないのではと思います。
可児事務局長	事務局の記載誤りです。申し訳ありません。
日比野教育長	<p>学校に来ている子については家庭訪問するのですが、給食費ばかりか「教材費も全部行政が出してくれれば学校に行ってもいい」と言う親がいる。義務教育に対する感覚は国によって随分違います。</p> <p>去年は215人の児童生徒が異動しましたから、毎日1人は出入りしている。一般には4月と5月が異動の月を言われていますが、美濃加茂市は単純には当てはまらない。</p> <p>それでは、最終評価は「B」でよろしいでしょうか。</p>
古川学校教育課長	※15番「教育センター運営事業」について説明
日比野教育長	社会科副読本はこの4月に新しくなったのですが、あれは美濃加茂市を知るには本当にいい本です。自画自賛ではないですけど、他の方に見せると欲しいと言われます。市販されてないですから。
鹿野委員	姫行列が表紙の本ですね。あれは凄くいい。内容が深くて広くて、しかも分かりやすいです。
日比野教育長	<p>現場の先生方が中心になって編集してもらっています。それも地域の方々の力を借りていますので。</p> <p>教育委員会の事業としての最終評価は「B」ですが、限りなく「A」に近い「B」です。</p>
古川学校教育課長	※16番「教育相談事業」、17番「適応指導教室事業」について説明
鹿野委員	よくやってくださっていると思って「A」にしました。
日比野教育長	<p>相談が無いのが自慢じゃ困るということなのです。それは解決したのではなくて、相談しにくかったから来ないというのもありますのでね。そういう点では、今は本当によく来てくれているし人数も増えている。実は市外からも頼りにされているのです。</p> <p>それでも不登校がここ2、3年増えているんです。その原因と対応が課題で残っていると私は思っています。これだけよくやってもらっているにもかかわらず不登校が増えているのには何か原因があるし手立てがあるはずなのですが。4月の学力学習状況調査やハイパーQUを分析して、ぜひ不登校傾向が減少するとありがたい。</p>

高野委員	課題として「専門機関との連携」とありますが、「専門機関」とはどのような機関のことを指すのでしょうか。
古川学校教育課長	医者も勿論ですが、子ども相談室あるいは専門家であるカウンセラーの方のことを指します。
高野委員	その専門機関をチェックする機関はあるのでしょうか。教育センターを勧めるわけですけど、こちらとしての機能が十分に果たせられるのかと感ずることがあります。不登校がますます増えていく中で、専門機関を信頼することも必要ですが、それぞれの専門機関のあり方を事務局ではどう判断していくのかということも思いました。
古川学校教育課長	保護者もどこの医療機関へどのように相談しに行ったら良いかが分かってないところがあります。こちらの方も今までの経験と積み重ねの中での助言になりますけども、勿論その医療の先生を良く知ってなければいけないということもあります。ただ形だけの紹介ではなく、しっかり話が出来る体制を構築していかなければいけないと更に思いました。
日比野教育長	可茂地区へ県からスクールカウンセラー（SC）とスクールソーシャルワーカー（SSW）の2名派遣してもらっていますが、2名とも美濃加茂市に来てもらっています。
古川学校教育課長	スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーとに年間を通して学校に入ってもらっています。これは、大勢が入れ代わり立ち代わりでその子どもに関わるのではなく、よく子どものことが分かっている人に継続して入っていただく体制が今非常に上手くいっているところですので、こうした事業も連携ということで大事にしていきたいと思っています。
日比野教育長	美濃加茂市が独占して関わっていただいておりますが、やはり人数に限りがありますので、そんなに大勢を相手にできませんが、たくさん課題を抱えているような生徒をよく見てもらっています。 それでは、16番の最終評価は「B」、17番は「A」といたします。
古川学校教育課長	※18番「幼稚園就園奨励補助事業」について説明
日比野教育長	対象者が48名増えています。美濃加茂には公立の幼稚園が無いので、全て私立の幼稚園。こういう業務が教育委員会に来ているということです。

皆さん「A」ということで、最終評価も「A」でお願いします。

古川学校教育課長

※19番「情報教育推進事業」について説明

日比野教育長

タブレットを一度に更新できませんのでね。最初に40台入れても5年経つと次々と機種が変更されて性能が日進月歩良くなってきます。5年前の機種は老朽化してきて、古いのは使い方も面倒くさいということと同時に、ある学校へ行きましたら、40台中30台が壊れていて動かない。10台で授業をやるものですから、使わない方が授業がやりやすいという場合もあるようです。今は電子黒板が使いやすいと言われていましてやはり時代に即応して使いやすいものを入れていきたいと思っています。しかし、どの学年も1台は電子黒板があるように入れていってますが、課題は大規模校の学校でクラスが多いということです。学年にクラスが1つしかない学校もたくさんクラスがある学校も同じように入れていくっていうのもおかしいです。

このように課題もありますので最終評価は「B」ということで、現場の声を聴きながら進めていきたいと思っています。

古川学校教育課長

※20番「いじめ対策事業」について説明

日比野教育長

本当にいじめを何とかして少なくしていきたいとの思いから予算を付けていただいて頑張っています。ハイパーQ Uを年に2回行うのはそうそうこの自治体もがやっているわけではありません。4月に行う学力学習状況調査もそうですが、やはり日々、先生が子どもの様子を見ていることが重要です。調査・測定結果を見てアツと思いき、実際に子どもの様子を見て現実の姿とぴったり一致した時に非常に効果を発揮します。是非とも現場は結果を活かしていじめを防いでもらいたい。現場としてはどれもこれもやらなければならないことがたくさんあるのですが、これは、基礎学力を付けることと全く同等に大事だと思っています。

最終評価は「B」といたします。

この点検・評価は時間がかかるにも関わらず、皆さんよく読んでくださって、ありがとうございました。

可児事務局長

本日举行させていただきました点検・評価につきましては、公表をするとともに議会への報告をいたします。

議第2号 美濃加茂市立東中学校の通学区域について

日比野教育長

議第2号、美濃加茂市立東中学校の通学区域について、事務局から説

	明をお願いします。
可児事務局長	<p>※資料（答申書の写し）に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月26日、美濃加茂市立小学校及び中学校通学区域審議会を開催し、答申をいただいた。 ①東中学校の通学区域の一部である太田地区の官舎・大手町・北一・北一東について指定校変更申請を行う事により西中学校への就学を当分の間認める。 ②東中学校の通学区域の一部である蜂屋地区の石塚及び中部台、山手小の通学区域に限りについて兄・姉が西中学校へ通学又は通学していた場合は指定校変更申請を行う事により西中学校への就学を当分の間認める。 ③生徒指導の増減による学校規模を原因とする教育環境上の課題が発生した際には改めて通学区域の見直しを行う。 <p>ということで「当分の間」というのは、課題が発生するまでは当分の間この経過措置を延ばしていくという意。</p>
日比野教育長	このことについて何か質問がありましたらお願いします。
	※特に質問等なし
日比野教育長	それでは、議第2号については決定とします。

(5) 協議・報告事項

① 全国学力・学習状況調査の結果について

日比野教育長	<p>協議・報告事項です。</p> <p>まず始めに、全国学力・学習状況調査の結果について、教育センターの担当に来てもらっていますので、説明をお願いします。</p>
可児事務局長	全国学力・学習状況調査の分析結果につきましては、非公開とさせていただきますので、よろしくをお願いします。
日比野教育長	それでは、ここからは非公開といたします。傍聴人はいませんので、さっそく説明をお願いします。
木村係長	<p>※パワーポイントを用いて分析結果を説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学力調査に係る市の状況・課題と向上策（案）について <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成29年度 美濃加茂市・岐阜県・全国の正答率 (2) 平成25年度以降の全国比（標準化得点）の推移

山内教育センター次
長

- (3) 美濃加茂市における標準化得点の過去3年間の比較
- (4) 国語における課題と指導改善のポイント
 - ①語彙力を身に付け、適切に使うことについて
 - ②事実や事柄が相手に伝わるように工夫して話す
 - ③根拠を明確にして、自分の考えを書く
- (5) 算数（数学）における課題と指導改善のポイント
 - ①「数量関係（小学校）」や「数と式（中学校）」における理解
 - ②図形についての理解

2. 各小・中学校で実施することについて

3. 児童生徒質問紙調査の集計及び全体的な傾向と考察について

(1) 小学校調査の集計結果と傾向について

- ①自己肯定感に関すること
- ②家庭生活に関すること
- ③家庭学習に関すること
- ④授業に関すること
- ⑤学校生活に関すること
- ⑥地域との関わりに関すること

(2) 中学校調査の集計結果と傾向について

- ①自己肯定感に関すること
- ②家庭生活に関すること
- ③家庭学習に関すること
- ④授業に関すること
- ⑤学校生活に関すること
- ⑥地域との関わりに関すること

日比野教育長

委員さんから何かご質問はありませんか。
ある学年を1年生から3年生まで追跡してみることは難しいですか。
自己肯定感が言われていますが、肯定ばかりして反省しないのはいけませんので、振り返ることも大切にしてもらいたいと思います。
では、ご意見やご質問などがありましたら、またお願いいたします。

② 教育委員会行事予定等について

日比野教育長

続きまして、教育委員会行事予定についてお願いします。

古川学校教育課長

※資料に基づいて11月、12月の行事予定を説明
・11月1日（水） 山手小学校F-O公表会
・11月9日、10日 教育委員会視察研修（富山市、飛騨市）

- ・ 11月17日（金） 定例教育委員会、F－O推進事業中間報告会
- ・ 12月26日（火） 2学期終業式
- ・ 1月9日（月） 3学期始業式

③ 教育センター事業報告について

山内教育センター次長 ※次回定例会にて報告することとする。

(6) その他

日比野教育長 それでは、その他ですが、廃棄パソコンのハードディスクの事案について、報告があります。

可児事務局長 ※相手方業者との和解について資料に沿って説明
 ・明日（10月20日）の市議会臨時会にて議決を求める。議決を受けて和解を成立させ、市からの指名停止となる。

日比野教育長 和解の内容について、明日の市議会臨時会にて諮ります。
 次に、今後の定例会の開催についてお願いします。

可児事務局長
 ・ 11月定例会
 日時 平成29年11月17日（金）午前10時30分から
 引き続き午後1時からF－O推進事業の中間報告会
 ・ 12月定例会
 日時 平成29年12月19日（火）午後3時から
 引き続き午後4時から総合教育会議を開催

日比野教育長 本日は長時間にわたり大変お疲れさまでした。
 それでは10月の定例会をこれで終了いたします。ありがとうございました。

閉会 午後4時25分